

【NEW RELEASE】

X線画像処理・撮影用ビューアソフト「X-Point Power Action」をリリース

この度、X線 CMOS カメラ「X-Point Super Zero」の性能を最大限に引き出す、高性能ビューアソフトウェア**『X-Point Power Action (エックスポイント・パワーアクション)』**をリリースいたしました。このビューアソフトは当社 X 線カメラの購入者に無償で提供されるサービスです。

■ 直感的な操作で、最適な X 線画像を。

「X-Point Power Action」は、現場での使いやすさを徹底的に追求したビューアソフトです。最大の特徴は、露光時間の設定、フレームレート、ゲイン調整といった X 線映像の撮影に必須のカメラ制御から、アンシャープマスクやコントラスト強調などの高度な画像処理まで、**すべての操作系をメイン映像と同一パネル上に集約**した点にあります。映像の変化をリアルタイムに確認しながら最適な撮影条件を追い込めるため、誰でも直感的に高精細な透過画像を得ることが可能です。

フルスクリーン



操作パネル



■ 主な特徴

1. **GenICam 規格準拠** 産業用カメラの標準規格である GenICam(Generic Interface for Cameras)に対応。GigE,USB などインターフェースを問わず、安定したカメラ制御と汎用性を実現しました。
2. **OpenCV による高度な画像処理** 世界的に信頼性の高い画像処理ライブラリ「OpenCV」をベースに採用。X 線検査に不可欠な「ノイズ除去 (メディアンフィルタ)」「鮮鋭化」「画像積算」などの強力なアルゴリズムを標準搭載しています。
3. **ワンパネル・インターフェース** 撮影設定と画像処理パネルが

Imagista corporation

機能的に分離・配置されており、複雑なメニュー階層をたどることなく、一画面ですべてのタスクが完結します。

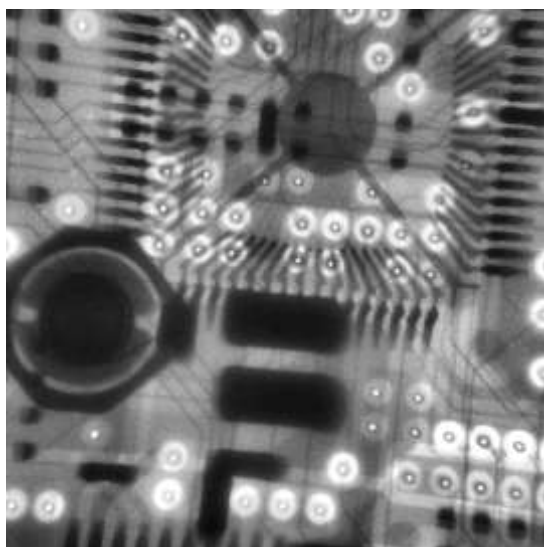
【技術解説】

- **GenICam とは？** EMVA（欧州マシンビジョン協会）が策定した、産業用カメラを共通のインターフェースで制御するための規格群です。メーカー独自のドライバに依存せず、統一された手法でカメラを操作できるため、将来的なシステムの拡張やメンテナンス性に優れています。
- **OpenCV とは？** 画像処理・コンピュータビジョンに関する膨大な機能を備えたオープンソースライブラリです。学術研究から最先端の工業用自動検査システムまで幅広く活用されており、高度な画像解析や機械学習への応用も可能です。

■ 製品イメージ

- **メイン画面：** 1936×1216 ピクセルの高解像度映像をリアルタイムに表示。
- **画像処理例：** 標準撮影、コントラスト強調、白黒反転（ネガ表示）。エッジ強調、ノイズ処理

コントラスト強調



反転画像

